

山口日独協会ニュース

Neuigkeiten der Japanisch-Deutschen
Gesellschaft Yamaguchi

Nr. 1 2 6, September 2016

山口日独協会 〒753-0083 山口市後河原94

Japanisch-Deutsche Gesellschaft Yamaguchi:

Ushirogawara 94, Yamaguchi, 7530083, JAPAN

TEL/FAX : 083-920-2965

<http://www.jdg-yamaguchi.jp/> info@jdg-yamaguchi.jp

協会からのお知らせ

1 ドイツ祭り (Deutsches Fest) のご案内

10月1日(土),2日(日)の両日、10:00~16:00の間にかけてドイツ祭りを開催します。

今年も山口市一の坂川周辺で行われる「アートふる山口」に合わせての開催で、山口日独協会は上原理事長宅で行います。

ドイツの観光等の紹介、ガレージレストランでドイツワイン・ビール・パン・ソーセージ等を提供します。

当日お手伝いいただける方を募集します。皆様のご協力を宜しくお願いします。

ガレージ・レストランのお手伝いの内容は、パン・ソーセージセットをお皿に盛る事やお客様の注文聞き、お料理・ワイン等の飲み物の運搬、などです。10:00~16:00の間のご都合のつく時間帯で無理のない範囲でのお手伝いをお待ちしています。

お昼には昼食と飲み物飲み放題 (ワイン、コーヒー、ジュース)付きで提供されます。奮ってご参加下さい。詳細、お手伝いのご連絡は上原理事長までお願いします。

アートふる山口全体のチラシを同封しています。チラシの見開き地図31が、山口日独協会の会場です。皆さんもぜひお立ち寄りください。

2 行事のご案内~<アルネ・トルガー ピアノ・リサイタル>

・日時：2016年10月22日(土) 15時00分開演/14時30分開場

・場所：山口県旧議会棟議場(山口市滝町1-1,TEL 083-933-2268)

・曲目：①ベートヴェン：ピアノ・ソナタ 第17番 作品31の2 「テンペスト」

②ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第31番 作品110

③ショパン：24のプレリュード 作品28

・主催：山口日独協会

<チラシを同封しています>

・アルネ・トルガー氏と山口のご縁

2011年4月、コンサートを計画しました。しかし、同年3月11日の東日本大震災により、日本への渡航が自粛されました。トルガー氏は、泣きながら日本へ、山口へ行くことができないとお断りの連絡がありました。2013年、彼はそのお詫びを兼ね、念願の山口でのコンサートをサロンと言う形で実現して下さいました。彼の好意を受け、山口市洞春寺にて、東日本大震災チャリティーコンサートを実施しました。今回、2度目の山口での公演です。

会員の皆様のご来場をお待ちしています。お問合せ、チケット予約は上原理事長へご連絡をお願いします。メールでも結構です

上原 (TEL:083-920-2965,090-5269-4941・メール:info@jdg-yamaguchi.jp)

3 会員の皆さんからの投稿、情報提供

(1) 嶋田日出夫さんからの投稿です。山口日独協会のドイツ紀行で、「マルクトハイデンフェルト・フランクハウス・ゼクト」を次ページに掲載しています。

(2) 「西田幾太郎に会う」

哲学者・西田幾多郎の読書会・講演会等が行われます。西田幾多郎は、明治30年9月から32年6月まで山口高等学校（旧旧山高）教授として赴任し、その折居住した旧宅も残っています。今回、西田幾多郎生誕の地・ゆかりの地交流事業として講演会等が行われます。

詳細は、同封のチラシをご覧ください。 <チラシを同封しています>

(3) 「デュオの楽しみ2」

日時：11月23日（水・祝）13時30分開場、14時開演

場所：山口市 C.S 赤れんが

ピアノ連弾、ヴァイオリンソナタ、フルート二重奏等の室内音楽のコンサートが行われます。詳細は、同封のチラシをご覧ください。 <チラシを同封しています>

(4) 「ゲストレクチャーシリーズ：西川勝人」

日時：9月23日（金）19時～21時

場所：山口情報芸術センター

文化庁委託事業「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として、「コレクティヴ：EAS_Y Vol.02 地域と語る：資源×探究×記録×集合」と題し、「ゲストレクチャーシリーズ：西川勝人」が開催されます。西川勝人氏は、ドイツ、デュッセルドルフ近郊のノイス市にある建築と彫刻の境域をまたぐインゼル・アベルト美術館の活動に参画しているアーティストで、1988年のベネチアビエンナーレ・アベルトを始め多くの国際展で活躍している方です。

<チラシのコピーを同封しています>

(5) 「山口のアートをつくる・つたえる・つなぐアートレシピ本」刊行のご案内

会員曾田元子さんからの情報提供です。曾田さんは、山口アートネットワーク（Yan）を主宰、山口に在る芸術・文化を通して、アートと文化施設、市民とまちのネットワークを目指し、「新しい山口の芸術・文化を創造できる“まち”づくり」の活動を行われています。同会結成10周年を記念され標記の本を刊行されました。

価格は、1,000円、お問合せはYan（090-9504-5526）までどうぞ！

<チラシを同封しています>

<会費納入のお願い>

会費：法人；10,000円、一般；2,000円、家族；1,000円、学生；1,000円
本年度会費未納の方は、納入をお願いします。

山口銀行の場合、皆さんの通帳からATMを利用されると振込手数料は無料です。

手数料節約のご協力をお願いします。

【会費納入方法】振込先：郵便局、口座番号；01550=9=26140 加入者名；山口日独協会
振込先：山口銀行県庁内支店 口座番号；6171166 加入者名；山口日独協会

マルクトハイデンフェルト・フランクハウス・ゼクト
・・・1年前の旅の思い出・・・

嶋田 日出夫

もう既に1年以上も経ってしまいました。ものすごく昔のことだったような、いやもうすぐ最近のことだったような、どちらにしても嘘のようです。

この旅で私たちが拠点にしたアンゲリカさんの故郷（ご両親がお住まいの）マルクトハイデンフェルト（Marktheidenfeld）はマイン川沿いにある小さな町、三角形・四角形とマイン川が湾曲し蛇行するところにあります。「Dreiecke・・・、 Vierecke・・・」とたびたび説明されていたのですが、地図を見て始めて分かりました。

そのマルクトハイデンフェルトでガイドさんに連れられて街歩きをしたなか、フランクハウス（Franckhaus）という建物前面ファサードの壁全面が青く光っている（ちょっと大げさでしょうか）素敵な建物がありました。この壁面の青色にはラピスラズリィが含まれているとのこと。ラピスラズリィと言えば瑠璃、私の大好きな貴重な石（宝石？）です。山口には瑠璃光寺がありますが、この瑠璃光とはラピスラズリィの光、聞くところによると朝日が今まさに昇ろうとするその直前に一筋の青い光が一瞬ピッと輝くそうで、その青い光のことを瑠璃光と呼ぶそうです。ちょっと脇道にそれましたが、私の名前も「日出夫」なもので、つい興奮してしまいました。



フランクハウスの青いファサード

さて、このフランクハウス、今では町の資料館になっておりカフェやギャラリーも併設されているのですが、もともとここではゼクト（Sekt）が作られていたそうなのです。そしてなんと、かの有名なフランスのシャンパーニュよりも早くから醸造していたとのことで、ドイツでは勿論のこと世界で一番早く発泡性のワインを作ったところなのですと説明がありました。この人がシャンパーニュ地方に行って、醸造法を教えたのかも知れない？ということのようです。さあ、シャンパーニュの人が聞いたら、何と言われるでしょうか。（・・・このところは私の聞き間違いがあるかも知れません。もし間違っていたら申し訳ないです。）そして何と、今でも「フランクハウス」というゼクトが作られているのです。しかも、私たちが宿泊したホテル経営者一族で、ブドウ畑を案内していただきワインの試飲もさせていただいたデピッシュさんのところで作られているのです。見れば、ホテル併設のワインショップに置いてあるではないですか。あの建物の壁面の青色、ラピスラズリィを想起させる青色のボトルが飾ってあったのです。このときの喜びは今でも鮮明に心に残り、忘れることはできません。早速1本購入、トランクに入れて山口に持って帰ろうと思いました。

私たちは今回の旅行の後で友人の居るベルリンに寄って帰ったのですが、ベルリンのホテルでどうしてもなくこの「フランクハウス・ゼクト」を開ける欲望に負けて飲んでしまいました。いや～悩んだのですが、中身は十分に味わいながら胃の中に流し込み、結局この青いビンだけをトランクに詰めて山口まで持って帰ったのです。いまでも居間のすりガラス窓の前で、青い光を放っています。



フランクハウス・ゼクトの青いビン

Arne Torger Piano Recital

アルネ・トルガー

ピアノ・リサイタル

2016年

10月22日 土

15:00 開演 (14:30 開場)

山口県旧議会棟議場

山口市滝町1-1 / TEL 083-933-2268

全席自由 1,200円
(当日300円増し)

曲目

- ◆ ベートヴェン
ピアノ・ソナタ 第17番 作品31の2「テンペスト」
- ◆ ベートヴェン
ピアノ・ソナタ 第31番 作品110
- ◆ ショパン
24のプレリュード 作品28

アルネ・トルガー：プロフィール

スウェーデン生まれ。幼少よりストックホルムにてハンス・ライグラー氏に師事し、13歳でデビュー。ドイツのハノーヴァー音楽大学でライグラーのマスタークラスに於いて更に研鑽を積み、国内外のコンクールで賞を得る。ソリスト並びに室内楽の分野でスカンジナビア、フランス、ベルギー、スペイン、スイス、ドイツで数々のラジオ、テレビ放送に出演。母国では、スウェーデン放送オーケストラ、ストックホルムフィルハーモニー、クルト・マズーア、ヘルベルト・マズーア、ヘルベルト・ブロームシュテットと共演。ベートヴェンピアノソナタOp.111のレコードは国内外好評を博す。室内楽でも特にブラームスの全室内楽作品のレコーディングをはじめ、広いレパートリーを持つ。国内外で数多くの講演会、ザルツブルグのモーツァルテウム、ワイカスハム等に於いて指導にあたり、ライプツィヒ、ジュネーブ等の国際コンクール審査員も務める。1980年よりヴェルツブルグ音楽大学、1997年から2009年までワイマールのフランツ・リスト音楽院教授。

アルネ・トルガー氏と山口のご縁

2011年4月、コンサートを計画しました。しかし、同年3月11日の東日本大震災により、日本への渡航が自棄されました。トルガー氏は、泣きながら日本へ、山口へ行くことができないとお断りの連絡がありました。2013年、彼はそのお断りを兼ね、念願の山口でのコンサートをワロンと語り形で実現して下さいました。彼の好意を受け、山口市潤春寺にて、東日本大震災チャリティーコンサートを実施しました。今回、2度目の山口での公演です。

チケット取扱先 山口市民会館、山口情報芸術センター、C.S赤れんが、防府アスピラート

プレイガイド 山口井筒屋、カワイ山口ショップ、三好屋

主催 山口日独協会

助成 山口メセナ倶楽部 **協賛** 鶴松永ピアノ

後援 山口市、山口市教育委員会(公財)山口県国際交流協会、山口EU協会

お問合せ 山口日独協会 (TEL/FAX:083-920-2965上原)